

令和5年度8時間連続水質調査計画書

令和5年9月吉日

鯉城・堀川と生活を考える会

調査の目的

堀川の最大の特徴は、自主水源を持たない感潮河川である。
(下流において流速や水位が潮の干満の影響を受けて変動する河川のこと)
当会としては、感潮河川の経時的な変化のなかでの水質調査・景色の変化
生き物を観察することで、堀川の豊かさを見いだすことを目的とする。
今年度は、満潮時から干潮時に於ける採水とする。

調査地点

志賀橋、納屋橋、瓶屋橋、港新橋

調査月日

| | | | | |
|--------------|--------|----------|---------------|----|
| 令和5年10月4日(火) | 中潮 | 予備日 | 令和5年10月20日(金) | 中潮 |
| 満潮 9:00 | 2. 22m | 満潮 9:27 | 2. 10m | |
| 干潮 14:20 | 1. 24m | 干潮 14:41 | 1. 33m | |

調査回数・時刻

| 10月4日(火) | | | 予備日 10月20日(金) | | |
|----------|-------|----|---------------|-------|----|
| 1 | 9:00 | 満潮 | 1 | 9:30 | 満潮 |
| 2 | 10:00 | | 2 | 10:30 | |
| 3 | 11:00 | | 3 | 11:30 | |
| 4 | 12:00 | | 4 | 12:30 | |
| 5 | 13:20 | | 5 | 13:30 | |
| 6 | 14:20 | 干潮 | 6 | 14:30 | 干潮 |
| 7 | 15:20 | | 7 | 15:30 | |
| 8 | 16:20 | | 8 | 16:30 | |

調査方法

調査項目毎にパックテスト、機器テスト、官能検査、観察により現地で行う。
パックテスト COD(高、低)、NH4(アンモニウム態窒素)
機器テスト 気温、水温、塩分、透視度、DO、pH、EC、ORP
DO 25・26期に於いては、DO試験機を使用しDOデータ
採取をお願いします。(DO機器とのデータ比較の為)
官能検査 臭気
観察 川の色、水の色、
川の内外の生き物、川面の様子他、

調査担当箇所

令和5年度は次の4か所を各期で担当する。
(年間行事予定とする)

| | | | |
|-----|--------|-----|--------------|
| 志賀橋 | 19~22期 | 瓶屋橋 | 25・26期 |
| 納屋橋 | 23・24期 | 港新橋 | 27・28・30・32期 |

採水方法

各測定点とも橋(川)の中央部で表層水を採水する。

調査手順書

“水質分析マニュアル”(KTS-2013)に基づく。

添付資料

8時間連続調査記録紙 2023年版(各測定地点用)

追記

1) 当日の実行について

当日は、小雨程度では実行します。

当日雨が降りそうな場合は、雨具の用意をして下さい。

最終判断は、NHK6時58分頃の天気予報に於いて、降水確率60%以上の場合は、延期とし、予備日にて行う。予備日に於いても不可の場合は今年度は、中止とします。

2) 器具類の保管

・DO試験機は、25・26期で保管

・クーラーボックス(保冷剤含)は、引き続いて各期にて保管をお願い致します。